

整形外科

a. 診療体制

2024 年度は部長 2 名、副部長 4 名、専攻医 2 名の計 8 名で診療にあたりました。

専門外来として、脊椎脊髄病外科外来（太田、北折）、股関節、人工関節外来（田村）、膝、肩、スポーツ外来（佐治）での診療を行いました。

手術症例として、従来の脊椎・関節の変性疾患を中心に、肩、膝、スポーツ外科の症例も増加しています(2024 年度 664 件、2023 年度 620 件)。また、昨年度に引続き外傷外科にも力を入れて取り組みました。

b. 診療実績

手術件数：664 件（主な内訳：頸椎 31、胸腰椎 140、脊髄腫瘍 2、人工股関節置換術 68、人工膝関節置換術 38、肩腱板修復術 31、膝靭帯修復、半月板手術 41 件、骨折観血的整復術 128 など）

c. 研究実績

【論文】

1. Maeda T, Kuriyama S, Ito T, Umatani N, Nishitani K, Nakamura S, Matsuda S. Preoperative radiographs underdiagnose the severity of lateral femoral and medial trochlear cartilage damage in varus osteoarthritis knees. Mod Rheumatol. 2024 Aug 20;34(5):1062-1071.
2. Maeda T, Kuriyama S, Yoshida S, Nishitani K, Nakamura S, Matsuda S. Decreased Elastic Modulus of Knee Articular Cartilage Based on New Macroscopic Methods Accurately Represents Early Histological Findings of Degeneration. Cartilage. 2024 Dec;15(4):461-470.

【学会発表】

1. 佐野宗我，村田浩一，藤井貴之，松田秀一 足趾手術に伴い間質性肺炎が急性増悪した関節リウマチの一例と文献学的考察 第 482 回京阪神集談会 2024. 7. 20 大阪
2. 岩田寛志，平雄一郎，岡本健，太田雅人，田村治郎，麻田義之 肺癌肉腫の前腕屈筋群転移に対して腫瘍摘出術を行った一例 第 143 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2024. 10. 4-5 神戸
3. 北折俊之，太田雅人，佐治隆彦，石橋聖之，室谷和弘，松本知丈，田村治郎 L4/5 単椎間固定 PLIF/TLIF 術後早期の固定下位 L5/S 隣接椎間障害の危険因子 第 53 回日本脊椎脊髄病学会 2024. 4. 19 横浜
4. 北折俊之，太田雅人，佐治隆彦，石橋聖之，松本知丈，岩田寛志，麻田義之，田村治郎 L4/5 単椎間 PLIF/TLIF 後の隣接椎間障害のリスク因子を再考する 第 4 回脊椎疾患フォーラム 2024. 6. 31 京都・大阪 Hybrid 開催
5. 北折俊之，太田雅人，佐治隆彦，石橋聖之，松本知丈，岩田寛志，麻田義之，田村治郎 L4/5 単椎間 PLIF/TLIF の術後隣接椎間障害のリスク因子は L3/4 と L5/S1 で異なる 第 33 回日本インストゥルメンテーション学会 2024. 9. 21 札幌

6. 前田峻宏, 栗山新一, 吉田繁央, 西谷江平, 中村伸一郎, 松田秀一 巨視的な軟骨硬度測定法による膝関節軟骨の弾性係数低下は組織学的な早期軟骨変性所見を正確に反映する 第3回日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会 2024. 4. 19-20 高松
7. 前田峻宏, 栗山新一, 吉田繁央, 西谷江平, 中村伸一郎, 松田秀一 新規開発弾力測定器による膝関節軟骨弾性係数低下は初期組織学的損傷を検知できる 第97回日本整形外科学会学術総会 2024. 5. 23-26 福岡
8. 前田峻宏, 栗山新一, 吉田繁央, 西谷江平, 中村伸一郎, 松田秀一 新しい軟骨弾性係数測定法による膝関節軟骨の弾性係数低下は組織学的な初期変性所見を正確に検知できる 第2回日本膝関節学会 2024. 12. 6-7 那覇
9. 佐治隆彦 陳旧性肩関節前方脱臼に対するリバーstype人工肩関節置換術の一例 第51回日本肩関節学会 2024. 10. 25-26 京都
10. 松本和丈, 佐治隆彦, 麻田義之, 北折俊之, 田村治郎, 太田雅人 Posteromedial Rotatory Instability (PMRI) に対して前内側からの 2 Window approach で治療した一例 第143回中部日本整形外科災害外科学会 2024. 10. 4-5 神戸

【講演】

1. 太田雅人 頸椎後方固定術の現状－解剖を熟知した手術計画と患者さんに与える恩恵－ 第374回大阪臨床整形外科医会研修会 2024. 11. 16 大阪
【日本整形外科学会教育研修講演】
2. 田村治郎 セメントカップ、セメント THA と”超長期耐用”人工股関節の進むべき道は？ 第9回セメントカップ研究会 2024. 11. 16 京都
3. 北折俊之 市民講座：みんなの医療セミナー「腰痛」 2024. 7. 26 大阪

【研究】

1. Surgical navigation system を応用した頸椎手術の臨床評価
(太田雅人、北折俊之)
2. 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対する椎体再建術の臨床研究
(太田雅人、北折俊之)
3. クロスリンクポリエチレンと 26 ミリ径コバルトクロム人工股関節骨頭との組み合わせによるソケット磨耗の経時的臨床的測定評価、ソケットレントゲン所見の経時変化。
(田村治郎)
4. 高強度チタン合金ダブルテーパーシステム (HS-3 Taper) を用いた人工股関節の開発、中長期臨床成績の分析 (大腿骨皮質へのストレス分散に関する検討)
(田村治郎)
5. ハイドロキシアパタイト顆粒 (ボーンセラム) を用いた生体活性骨セメント手技による人工股関節ソケット固定の中期レントゲン所見、および臨床成績の分析
(田村治郎)
6. 超長期耐用を目指した新しい生体活性骨セメント手技の開発研究 (生体界面におけるハイドロキシ

アパタイト骨顆粒の分散および適切な顆粒径の分析)

(田村治郎)

7. ハイドロキシアパタイト顆粒を用いた大腿骨頭壊死に対する小侵襲の骨頭温存手術の開発、臨床成績の分析

(田村治郎)

8. セメント固定による人工股関節再置換におけるロングステム、サポートプレートおよび人工骨、同種骨の併用使用症例の臨床成績の分析

(田村治郎)

9. 新しい後十字靱帯切除型人工膝関節置換術 (BS 5) の従来型 (KU4) との比較検討

(田村治郎、佐治隆彦)

10. 後十字靱帯切除型人工膝関節置換術 (KU4, BS 5) の後方拘束性人工膝関節 (Posterior stabilizer type) との臨床的比較検討

(田村治郎 佐治隆彦)

11. 人工股関節手術、人工膝関節手術の術後骨折のリスクファクターおよび術後臨床成績の分析

(田村治郎)

12. リバース型人工肩関節置換術の術後成績

(佐治隆彦、前田峻宏)

13. 高齢者膝関節症における脛骨高位骨切り術の術後成績

(佐治隆彦、前田峻宏)